

令和5年度学生提案型企画 募集要項

1. 本プロジェクトの趣旨

「学生提案型企画」は、子どもの居場所学生ボランティアセンターのコーディネーターの援助の下、学生サポートボランティアが自ら子どもの貧困問題の解決や啓発に主体的に取り組む、公募型のプロジェクトです。

このプロジェクトでは、学生の皆さんが、子どもの貧困問題に対する理解を深め、卒業後にも引き続き、課題解決に貢献できる人材として社会で活躍するための経験を提供することを目指します。

2. 応募資格

- ① 学生サポートボランティアに登録している学生1名以上で構成されるチーム(3~5名)を組むことができること。※メンバーに教員は含まないが、院生はOK。
- ② 実施するプロジェクトに責任をもち、最後まで遂行できること。
- ③ センターからの連絡に対し、速やかに対応できること。
- ④ 成果報告書を作成し、年度内実施の成果報告会で発表すること。

3. 採択件数

自由提案型 1件

4. プロジェクトの実施要件

- ① プロジェクトの上限支援額:最大10万円の支援。
※配分予算額を超える分については自己負担です。
- ② プロジェクト実施期間:令和5年8月~令和6年1月
- ③ 子どもの貧困問題の解決や啓発に貢献する意義や効果が認められるプロジェクトであること。
- ④ チーム全員が一体となった活動を実施できること。
- ⑤ 令和6年2~3月開催予定の成果報告会には原則チーム全員が参加すること。
- ⑥ 外部機関への依頼や新聞等の取材を受ける際は、事前にセンターに相談すること。
- ⑦ 次項に記載する『5. 感染症拡大防止に関する注意事項』を遵守すること。
- ⑧ 感染症拡大に備え、リモートでの遂行が必須となった場合の実施方法の代替案も併せて記すこと。

5. 感染症拡大防止に関する注意事項

- ① 日頃から感染症拡大防止に努め、「感染しない・感染させない」ことを意識し、プロジェクト遂行にあっても以下に留意してください。
 - (ア) 毎日の検温等、自身の健康観察を行うこと。
 - (イ) こまめなうがい・手洗い、手指消毒、飲料の摂取など、衛生管理に努めること。
 - (ウ) 密閉空間・密集場所・密接場所の3つの密を避け、ソーシャルディスタンスを意識すること。
 - (エ) 感染症拡大防止に関する所属学校の指針に従い行動すること。

6. 経費について

<使用できる例>	<使用できない例>
・旅費（移動費・宿泊費 ※規定あり） ・レンタカー借用代（ガソリン代も可） ・制作物の材料購入費 ・パンフレット等の印刷費 ・図書購入費 ・謝金 ・送料 ・作業用具代 ・プロジェクトに必要な消耗品代 など	・プロジェクトとは関係のない消耗品代 ・自家用車による移動に伴うガソリン代 ・パソコンやディスプレイ等の備品購入代 ・学生個人が加入する保険料 ・タクシー代（特別に必要となる場合除く） ・人件費（アルバイト雇用経費） など

7. 応募方法

- ① 応募書類の「プロジェクトシート」を、以下のいずれかの方法で入手してください。
 - ア. 添付の資料を使用
 - イ. ホームページ(<https://www.consortium-okinawa.or.jp/kg-vc/archives/2990>)よりダウンロード(募集要項も同様に、上記ページから入手できます)
- ② 「プロジェクトシート」に必要事項を記入し、子どもの居場所学生ボランティアセンター宛にメールで提出する。(宛先: kg-vc@consortium-okinawa.or.jp)

8. 応募受付期間

令和5年6月26日(月)～7月7日(金) ※締切厳守

9. 審査会の実施について

- 審査の観点:①地域社会に対する意義 ②学生らしさ・オリジナリティ ③実施可能性
- 審査員:センター長、副センター長、コーディネーター
- 審査結果について:審査会后、数日以内に各プロジェクトの代表者に結果を通知する

10. プロジェクトシート提出後の流れ

令和5年7月下旬頃:プロジェクト採択決定通知

令和5年8月上旬頃:キックオフ説明会(できるだけチーム全員参加)

令和5年8月中旬～8月下旬:プロジェクトシートをブラッシュアップし再提出

令和5年9月～令和6年1月:個別ヒアリング → プロジェクト実施

令和6年2月～3月頃:成果報告会(原則チーム全員参加)、成果報告書の提出、関係機関へのお礼

11. 本件に関する問い合わせ先

子どもの居場所学生ボランティアセンター コーディネーター 松村・金城・上高

T E L: 098-895-1939 MAIL: kg-vc@consortium-okinawa.or.jp